

売店に一括返済する手立てが今のところありませんよ…。

宮下 そうであれば、②の買主としての地位の承継が可能かどうか、販売店に相談してみたいかがでしょう。Aさんの資力に問題がなければ、販売店も応じてくれるかもしれませんよ。この場合、Aさんが買主としての地位を引継ぎ、残金を支払っていくこととなります。

安川 わかりました。

クレジットカードによる割賦販売で気をつけたいポイント

宮下 割賦販売は一度に支払う額が少なくすむので、気軽に利用されがちなのですが、それだけにトラブルが起きがちで、売買取約でもありますので、十分な注意が必要です。割賦販売法は、クレジットカードによる分割払いの契約なども適用対象としています。

安川 なるほど。クレジットカードもつい気軽に利用してしまいますからね。

宮下 クレジットカードを利用する取引は、割賦販売法上は割賦購入あつせんとして取り扱われており、購入者は、販売業者ではなく、信販会社に対して支払いをすることになります。仮に、目的物に瑕疵があるなど、販売業者に対して支払いを拒む事由がある場合は、その事由をもって、信販会社に対しても支払いを拒むことができることとされています(割賦販売法第三十条の四第一号)。

販売業者とトラブルを抱えているときに信販会社からの請求にむやみに応じることのないよう、一応知識として持つておかれるとよいでしょう。

安川 わかりました。本件については、買主としての地位の承継の話し合いが終わるまでは、責任を持って支払いを続けるつもりです。

宮下 そうですね。割賦販売においては先ほどお話しした「期限の利益」について約款などで厳しく取り決められていることが多いのです。支払いが遅れた場合、残金の一括支払いや品物の返還を請求されることがあります。販売店は一括支払いを請求するためには、二十日以上期間を定め、事前に書面により催告しなければならぬとされていますが(割賦販売法第五条第一項、第二項)、いずれにせよ、気軽に割賦販売契約を結んでしまわないよう注意が必要です。

なお、平成二十一年十二月一日から施行される改正された割賦販売法では、クレジットカード取引について、指定商品・指定役務制が廃止され、不動産販売を除くすべての商品・役務がクレジットカード規制の対象とされています。規制対象となっていない商品や役務を消費者に売りつける悪質な行為に対処するための改正といえます。

安川 よくわかりました。さっそくピアノ販売店に連絡してみます。どうもありがとうございました。

宮下 ご不明な点があれば、またご相談ください。



今月のことば

シルバースター登録旅館【しるばーすたーとうろくりょかん】

高齢社会が進む中で、高齢者が利用しやすい宿泊設備を整備し、厚生労働省や関係機関の協力で全国旅館生活衛生同業組合連合会(全旅連)の認定を受けた旅館。

登録基準としては、①客室内浴室やトイレには必要に応じ手すり等が設置されている、②共同浴室には、手すり、スロープ、シャワーチェア、イスやベンチ等が設置されていて、高齢者の利用に配慮がなされている、③共同トイレは洋式トイレや手すりを設置し、事故発生時用の連絡設備がある、④階段等には手すりを設置している、⑤食事は高齢者に配慮したメニューの提供もできる、⑥高齢者が利用しやすい部屋割を行う、⑦満65歳以上の高齢者に対しては割引料金、粗品、飲食等の配慮を行う、⑧従業員に対して高齢者の宿泊客に接する際の配慮等の教育を行う、⑨適正な区域内に往診等の措置がとれる医療施設がある、などである。

食事についても、予約や宿泊の段階で高齢者の要望をできるだけ聞き取り、脂っこい、硬い、辛い、量が多過ぎる、などについても配慮する必要がある。

「シルバースター(Silver Star)」のマークは2つの「S」をハート型に組み合わせて「真心」を表現している。認定旅館は玄関にこのマークを提示している。



コラーゲン入り食品【こらーげんしょくひん】

コラーゲンはたんぱく質の一種で、皮膚、関節、骨に多く含まれ、人間の場合体重の約7%存在している。ただ、歳を経るにつれてコラーゲンは減っていき、そのために肌の弾力が失われ、皺やたるみの原因とも言われている。そのため、食品などにコラーゲンを含めることにより、コラーゲンを補おうという動きが女性の高齢者に多くなってきている。

研究者は、コラーゲンを摂取してもそれが体内でどのように作用するかはわかっていないが、肌の水分量を保てる実験結果は出ていると述べている。

食品に使われるコラーゲンは、動物の皮や骨から抽出し精製したゼラチンを分解して作る。これまで写真用フィルムには感光剤に混ぜてゼラチンが表面に塗布されていた。しかし、デジタルカメラの普及で写真用ゼラチンの使用が極端に減り、その技術を他に転用することが模索されていた。その写真フィルム用ゼラチンを作る技術が食品用コラーゲンの改良に結びつき、最近コラーゲン入り食品が増えてきた。

フィルム大手の富士フィルムも多角化経営の道を選び、コラーゲンのほか、写真の色あせを防ぐ抗酸化成分を配合した化粧品や、女性向け健康食品市場に参入している。